

科目名	高次脳機能評価学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	前期	必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
<p>脳損傷によって発生する高次脳機能障害はADL・社会活動に多大な影響を及ぼすことになる。 本講座では臨床で高次脳機能障害を理解するために必要な脳機能局在から高次脳機能障害の各症状の特徴・評価法を学ぶ。</p>							
〔授業全体の内容の概要〕							
<p>高次脳機能障害を理解するために必要な脳機能局在・高次脳機能障害の各症状や日常生活場面での現れ方・各種評価法等の基礎知識について、講義・演習を交えて学習する。</p>							
〔講師の実務経験〕							
<p>「2004年4月～2018年3月末まで急性期（集中治療室）から維持期（在宅支援）のリハビリテーションを提供する病院に所属する。 主な業務は身体障害および高次脳機能障害に対するリハビリテーションを実施していた。また対象分野に関する症例および学会発</p>							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
<p>損傷部位による各症状の現れ方と症状別の評価法を理解し、臨床で活用できることを目標とする。</p>							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション（総論、各種高次脳機能障害とは）						
2	機能局在と症例画像、観察から症状を推測する－						
3	高次脳機能障害の評価の流れ、観察と定型的評価						
4	各症状の特徴と評価－意識・注意－						
5	各症状の特徴と評価－認知機能障害・記憶障害－						
6	各症状の特徴と評価－失認・半側空間無視－						
7	各症状の特徴と評価－言語障害、遂行機能障害①－						
8	各症状の特徴と評価－言語障害、遂行機能障害②・まとめ						
	定期筆記試験						

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト高次脳機能障害学作業療法学 改定第2版		メジカルビュー
高次脳機能障害ポケットマニュアル	原 寛美	医歯薬出版

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

小テスト・定期試験の結果を合わせてテスト点数の評価を行う。
-------------------------------